

# クロアチア情勢

## 主な出来事

2018年1月

### 内政

- 3日、ポジェガ市の検察局は、トマシェビッチ・ポジェガ＝スラボニア県知事（クロアチア民主同盟（HDZ）党员）を家庭内暴力の罪で起訴。
- 4日、ミリノビッチ・リカ＝セニ県知事（HDZ党员）は、プリトビツェ国立公園長に、HDZ同県支部が推薦した者が任命されなかったことに反発し、HDZ同県支部長から辞任。
- 6日、HDZ党執行委員会において、ミリノビッチ・リカ＝セニ県知事の批判が不適切であるとして、HDZ同県支部の解散を決定。
- 9日、トマシェビッチ・ポジェガ＝スラボニア県知事は、HDZ党员から離脱する意向を表明。
- 11日、HDZは、トマシェビッチ・ポジェガ＝スラボニア県知事のHDZ党员の資格を剥奪。
- 12日、利益相反委員会（Conflict of Interest Commission）は、トドリッチ元アグロコル社CEOのアグロコル問題への関与をめぐり、マリッチ財務相に対する調査を開始。また、ダリッチ経済・中小企業相の夫がクロアチア石油会社（INA）社の役員として昨年受け取った16万8000クーナの申告漏れがあったとして、6000クーナの支払を命令。
- 15日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、イロクで開催されたクロアチアの国家承認26周年及びドナウ川周辺の平和的再統合を記念するレセプションに出席。
- 18日、クロアチア警察は、ザグレブ近郊にある2軒の家屋を家宅捜索し、クロアチア人2名、中国人2名の計4名を人身取引の疑いで逮捕。
- 22日、市民民主連盟（GLAS）、イストラ民主同盟（IDS）及びPAMETNOの党首による第一回「アムステルダム連盟」会合がザグレブで開催。3者は、クロアチアとバチカンとの間で締結された協定を見直す必要性があること等に合意。
- 23日、グラバル＝キタロビッチ大統領、クルスティチェビッチ副首相兼国防相及びゴトビナ退役将軍は、ザダルで開催された「マスレニツァ軍事作戦」の25周年記念式典に出席。
- 26日、内務省は、25－26日にわたり、36人のシリア人難民がトルコからクロアチアに移送されたと発表。
- 26－27日、ミロゴイ墓地において国際ホロコースト記念日式典が開催され、26日、プレニコビッチ首相、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相及びヤンドロコビッチ議会議長が出席。27日、グラバル＝キタロビッチ大統領が献花。

●31日、憲法裁判所は、1990年代初頭の戦争犯罪に關与したとして有罪判決を受けたメルツェプ元内務副相の裁判のやり直しを求める訴えを棄却。

## 外交

●9日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、アンカラを訪問し、エルドアン・トルコ大統領と会談。クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)、トルコの3カ国で、1月に外相会談、2月に大統領レベルでの会談を行うと発表。

●11日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、クロアチアを訪問中のメタ・アルバニア大統領と会談。

●13日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スロベニアのブルドーにて、パホル・スロベニア大統領、マツレツァ伊大統領、ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領、アーデル・ハンガリー大統領と会談。

●16日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相及びプレンコビッチ首相は、クロアチアを訪問中のポルトラク・ウクライナ国防相と会談。

●17－19日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、BHを訪問。17日、サラエボにおいて、チョービッチBH大統領評議会議長(クロアチア系)、イゼトベゴビッチ大統領評議会メンバー(ボシュニャク系)、イバニッチ同メンバー(セルビア系)、インツコ上級代表、ズビズディッチBH閣僚評議会等と会談。18日、(BH紛争時に)クロアチア系組織によって殺害されたボシュニャク系住民の、また、ボシュニャク系組織によって殺害されたクロアチア系住民のそれぞれの慰霊碑のあるBH中部のアフミチ村とクリジャンチェボ・セロ村を訪問。

●18日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相、チョリッチ環境保護・エネルギー相、カペツリ観光相等は、イタリアで開催された第3回政府間調整委員会会合に出席し、アルファーノ伊外相をはじめとするイタリア側閣僚等と協議。

●18－20日、ボジノビッチ内務相は、米国を訪問し、18日、レイFBI長官、19日、セッションズ米国司法長官、20日、麻薬取締局関係者等とそれぞれ会談。

●22日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたEU外相会合に出席。

●22－24日、ディビャク科学・教育相は、ロンドンで開催された世界教育フォーラムに出席。

●23日、プレンコビッチ首相は、セルビアのバチッチ・クロアチア系民族評議会代表、ジグマノブ・クロアチア系民主連盟党首兼クロアチア系セルビア議会議員と会談。

●25日、外務・欧州問題省は、同日からセルビアが国連NY本部で開催するヤセノバツ強制収容所に関する展示会に関して抗議する旨のプレスリリースを発出。

●25日、ダリッチ経済・中小企業相は、ブダペストで開催された第2回地域デジタル会合に出席し、ヴァルガ・ハンガリー国家経済相と会談。

●25－26日、プレンコビッチ首相は、ダボスで開催された第48回世界経済フォーラム(WEF)に出席。25日、ネタニヤフ・イスラエル首相、チプラス・ギリシャ首相及びルッテ・オランダ首相と会談し、26日、欧州投資銀行総裁、企業関係者等と会談。

- 25－26日、ボジノビッチ内務相は、ソフィアで開催されたEU司法・内務会合に出席し、キクル・オーストリア内務相及びキング欧州委員会治安連合担当委員と会談。
- 27日、外務・欧州問題省は、在クロアチア・スロベニア大使館に対して、スロベニア当局がクロアチア人漁業関係者に罰金を科すことに抗議する書簡を送付。また、内務省は、クロアチア警察が、ピラン湾(サブドリャ湾)のクロアチア領海内にスロベニアの漁船が許可なく繰り返し侵入したことに対する罰金支払書を送付する旨発表。また、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スロベニア側による行動を非難する旨発言。
- 28日、外務・欧州問題省は、25日に行われたヤセノバツ強制収容所に関する展示会の開会式におけるダチッチ・セルビア第一副首相兼外相の発言に対し、強い不満を示すため、セルビア側に抗議する書簡を送付。
- 30日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブチッチ・セルビア大統領に対し、クロアチア・セルビア間の諸問題の解決に向けて会談するため、2月中旬にクロアチアへの訪問を招待する旨の書簡を送付。
- 31日、ブチッチ・セルビア大統領は、30日付のグラバル＝キタロビッチ大統領からの招待を受け、2月12－13日頃にザグレブを訪問する予定である旨発言。また、外務・欧州問題省は、クロアチア・セルビア関係は複雑であり、そのために、クロアチア政府は懸案事項の解決に向けてセルビアとの間で対話を常に行っている旨声明を発出。

## 経済

- 1日、マリッチ財務相は、2017年の政府予算に関し、良好な経済状況を背景とする税収増により、財政収支が黒字となった旨公表。
- 3日、クロアチア経済会議所は、上海に事務所を開設。
- 11日、政府は、R&D投資に対する政府助成に関する法案を承認し、議会に提出。新法案は、R&Dやイノベーションに投資する企業に対して税額控除を付与する内容。控除額は、プロジェクト1件につき最大30万クーナを予定。
- 11日、政府は、プーラに所在するウリヤニク造船所に対して政府助成を付与する方針を決定。
- 11日、政府は、自動車購入に係る特別税の計算方法を見直す規則を採択。VATを含めた新車の購入価格が15万クーナを下回る自動車は、税が免除される内容。本規則は、1月12日より適用。
- 12日、クロアチア道路公社は、ペリエシャツ橋建設事業の本体事業に係る請負業者について、応札した3社のうち最低価格を提示した中国のChina Road and Bridge Corporation社(CRBC)を選定することを決定。
- 16日、ペリエシャツ橋建設事業の監督業務に関する入札を締切。応札のあった3社のうち、クロアチア企業(IGH institute社を中心とする企業連合)が最低価格を提示。クロアチア道路公社は、今後120日以内に最終的な選定を行う予定。
- 17日、プレンコビッチ首相は、INA株の買取りを含む戦略的問題に関するコンサルタントの選定に係る調達について、当初1月15日までとしていた応募期間を延長する旨言及。

- 17日、スタニッチ・クロアチア観光局長は、上海、ソウル、ローマ及びロサンゼルスに事務所を開設する旨発表。
- 19日、INAは、2018年の事業計画を発表し、シサク石油精製施設の一部のプラントを閉鎖する方針を表明。
- 19日、ウリヤニク造船所の労働者らは、2017年12月度の給料が未払いであることを理由に、1月23日にストライキを行うと発表。
- 22日、欧州委員会は、クロアチア政府によるウリヤニク造船所への政府助成の付与について承認。
- 22日、ペリエシャツ橋建設事業の入札結果に関し、オーストリアの Strabag 社は、クロアチア政府公共入札監視委員会に対して不服申立てを提出。落札した中国企業の入札価格に関する不当廉売(ダンピング)の可能性、中国政府による政府補助の可能性を指摘。
- 23日、ペリエシャツ橋建設事業の入札結果に関し、イタリア・トルコのコンソーシアムは、クロアチア政府公共入札監視委員会に対して不服申立てを提出。中国企業の建設事業に対する銀行保証の内容の不備等を指摘。
- 23日、クロアチア統計局は、失業率を公表。12月は12.2%と、前月(12.1%)からやや上昇。
- 24日、EU統計局は、2017年9月末時点の政府債務残高を発表。クロアチアの政府債務残高は、2,916億クーナ(対GDP比81%)。
- 25日、クロアチア経済会議所は、次期会頭を決める選挙を実施し、ブリロビッチ現会頭を再任。任期は2018年から2022年までの4年間。
- 26日、クロアチア民間パイロット連盟(HSPP)は、プレンコビッチ首相に対し、クロアチア航空の運営に関して政府の支援が不足している旨の書簡を送付。
- 29日、クロアチア統計局は、鉱工業生産高を発表。12月は前年同月比-2.5%と2カ月連続のマイナスとなる一方、2017年全体では前年比+1.9%となり、4年連続のプラス成長。
- 30日、ダリッチ経済・中小企業相とチョリッチ環境保護・エネルギー相は、ブダペストを訪問し、ハンガリー政府及びMOL社関係者とINA問題について協議。
- 31日、ジャラツ地域開発・EU基金相は、「祖国防衛戦争」の被害が未だに残るベンコバツツ及びペトリニャ地域において、医療施設、大学整備等の8事業115百万クーナのうち、EU基金が85百万クーナを負担する補助金協定に署名。

## 主要経済指標

(2017年月次データ, 政府統計局発表)

| 輸出総額<br>11月                    | 輸入総額<br>11月                      | 貿易赤字<br>11月                  | 工業生産高<br>12月<br>対前年同月比   | インフレ率<br>12月<br>対前年同月比   | 失業率(登録制)<br>12月          |
|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 955億クーナ<br>128億ユーロ<br>(+13.9%) | 1,498億クーナ<br>201億ユーロ<br>(+11.0%) | 543億クーナ<br>73億ユーロ<br>(+6.3%) | -2.5%<br>(11月:<br>-1.7%) | +1.2%<br>(11月:<br>+1.4%) | 12.2%<br>(11月:<br>12.1%) |

※輸出総額, 輸入総額, 貿易赤字の括弧内の数字は, 対前年同月比。

本クロアチア情勢は, クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道, 発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく, 特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。